

きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成21年11月 4日(水) 山根

自分の進むべき道は自分で決める

2学期も後半に入り3年生にとっては、自分の進むべき道を、具体的にしなければならない時期を迎えました。

進学を希望する人は「志望校」ではなく「受験校」を、就職を希望する人は、こんな仕事に就きたいという「職種」を決めなければなりません。

そして、2学期の終わりには、「三者面談＝個別懇談会」があります。

もう既に話し合っているとと思いますが、おうちの方に、真剣に、自分の考えを聴いて貰い、しっかりと相談(より具体的に)しておかねばなりません。



「僕はどこの高校を受験したらいいんですか」「どこへ就職したらいいんですか」という人がいます。

自分の人生です。自分の人生は自分で決めなければなりません。そして、自分で決めたことは自分で責任を取らねばなりません。

つまり「自己決定」「自己責任」です。

やがて、皆さんが旅立っていく社会は、毎日が自己決定と自己責任の連続です。自分の信念によって生きていかねばなりません。頼ってばかりでは、いけないのです。誰も助けてくれないかも知れません。

高校入試や就職試験はみなさんにとって「人生初めての試練」です。また、その試験に挑戦したなら、「合格」「不合格」という結果についても、責任を持たねばなりません。

そんな、人生の大きな決定事項は他人に決めて貰ってはいけません。甘えず、真正面から試験に向かっていかねばなりません。

「三者面談」が始まるまで、おうちの方との意見が合わないこともあります。そんなとき、落ち着かない日々があるかも知れません。勉強が手に付かないこともあるでしょう。しかし、その悩みを吹き飛ばしてくれるのは「勉強」以外にありません。勉強することでしか、この悩みを解消することは出来ないのです。

時には押しつぶされそうに感じますが、これを乗り越えたとき、一回りにも、二回りにも大きく成長した自分がそこにあるのです。

坂中生 がんばれよ！